

**2024年度
openam-dev
活動報告**

アジェンダ

- コンソーシアム版 OpenAM 開発状況
 - OpenAM 開発
 - Web Agent 開発
 - コミュニティサイト
- CNA 活動について

OpenAM 15 開発

状況	バージョン情報を15.0.0-SNAPSHOTとして次バージョンの開発中。
実施内容	❑ セキュリティ FIX(1件) ➢ セキュリティリリース (14.0.2)
今後の予定	❑ 3～4 年のスパンで開発を想定 ❑ 新規機能の検討・開発 ➢ DevOps 推進 ➢ プロトコルの更新への追随 (OAuth/OIDC/WebAuthn) ➢ REST API の拡充と XUI 化 ➢ ライブラリのアップデート・排除 ➢ OpenJDK 21 対応 ➢ Jakarta EE 対応 ➢ OGIS・OSSTech の独自機能の移行

今年度は SAML IdP の DoS 脆弱性 (CVE-2025-8662) を修正し、セキュリティリリース (14.0.2) を提供。

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (1)

- 管理コンソールのリライト (継続)
 - SvelteKitというWeb開発フレームワークを利用してリライト中
 - 画像は開発中の管理コンソール (デザインは既存と変わらない)



OpenAM 開発 – 開発中の機能 (1)

- 新たに共通タスク、セッション、SAML2 プロバイダー、トラストサークル、STSについて対応

ダッシュボード

レルムの概要

アクティブ openam, openam.example.co.jp [プロパティ](#)

共通タスク

セッション

セッション

demo [×](#) [× 削除 \(0\)](#)

☐ demo	アイドルタイム	アイドルタイムの残り時間	セッションの残り時間	
☐ 1 min 28 sec	28 min 31 sec	1 hr 58 min 31 sec	×	

« < 1 > »



OpenAM 開発 — 開発中の機能 (1)

アプリケーション - 連携 - SAMLv2 プロバイダ

SAMLv2 プロバイダ

SAMLv2 プロバイダの追加 +

× 削除 (0)

フィルタ...

☐ エンティティ ID	タイプ	場所		
☐ https://openam.example.co.jp:443/openam	IDP, SP	hosted		
☐ urn:federation:MicrosoftOnline	SP	remote		

« < 1 > »

アプリケーション - 連携 - トラストサークル

トラストサークル

+ トラストサークルの追加

× 削除 (0)

☐ 名前	エンティティ	状態		
☐ cot1	https://openam.example.co.jp:443/open...	● アクティブ		

« < 1 > »

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (2)

- OAuth / OIDC のエンハンス
 - クライアント認証方式として `client_secret_jwt` をサポート
 - デバイスフローの実装を RFC 8628 に準拠

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (3)

- アルゴリズムの強化
 - SAMLの暗号化アルゴリズムとしてAES-GCMをサポート
 - 管理者ユーザーやエージェントユーザーのパスワードハッシュアルゴリズムとしてArgon2 をサポート

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (4)

- ライブラリの更新
 - Node.js を v22 にアップデート
 - Java 内部 API の廃止

OpenAM 開発 – 開発中の機能 (2)

- その他のエンハンス
 - 証明書認証モジュール
 - クライアント証明書の値を正規表現で抽出してユーザー名とする機能
 - クライアント証明書の値で検索したユーザーの属性をユーザー名とする機能
 - SAMLの性能改善

Agent 4.2 開発開始

状況	これまでコンソーシアム版として OpenAM を対象としてきた。 新たに Web Agent もフォークし、開発を開始した。 https://github.com/openam-jp/web-agents
実施内容	今年度は進捗無し。
今後の予定	OGIS、OSSTech のパッチをマージして 4.2.0 としてリリース予定。

コミュニティサイトの作成

状況	GitHub Pages でコミュニティサイトを作成。 https://openam-jp.github.io/ja/ 現時点のコンテンツはOpenAM 14のリリース時に GitHub wiki で公開した内容（リリースノートや新機能の説明など）。
実施内容	脆弱性の修正に併せてセキュリティアドバイザリーページを準備。 https://openam-jp.github.io/ja/Advisories/CVE-2025-8662/
今後の予定	コンテンツを拡充していく。新機能を追加した際に利用手順等を追加する。

CNA 活動について



CNAとして脆弱性 (CVE-2025-8662) を公開

<https://www.cve.org/CVERecord?id=CVE-2025-8662>

[Partner Information](#) [Program Organization](#) [Downloads](#) [Resources & Support](#)

CVE-2025-8662

PUBLISHED [View JSON](#) | [User Guide](#)

[Collapse all](#)

Required CVE Record Information

CNA: OpenAM Consortium

Published: 2025-09-02 **Updated:** 2025-09-02

Description

OpenAM (OpenAM Consortium Edition) contains a vulnerability that may cause it to malfunction as a SAML IdP due to a tampered request.This issue affects OpenAM: from 14.0.0 through 14.0.1.

CVSS 1 Total [Learn more](#)

Score	Severity	Version	Vector String
2.3	LOW	4.0	CVSS:4.0/AV:N/AC:L/AT:P/PR:L/UI:N/VC:N/VI:N/VA:L/SC:N/SI:N/SA:L

OpenAM
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>